

事業報告書 (No. 20)

1	支援団体名	緑川・球磨川分水嶺会議実行委員会								
2	事業名称	緑川・球磨川分水嶺会議								
3	実施日時	平成20年2月9日・2月10日								
4	実施場所	下益城郡美里町洞ヶ岳(緑川)・球磨郡山江村万江川水源の森(球磨川)								
5	事業目的、内容及びその効果	<p>(事業実施状況・内容)</p> <p>事業計画では、環境に対する興味づけや啓発を目的としたイベントを計画していたが、スタッフ確保等の準備が整わず、計画の通りに実行することができなかつた。</p> <p>その後準備が整い議論をしたところ、興味付けや啓発も良いが、実際に緑川と球磨川の環境改善に効果がある活動を開催しようという結論に至り、植林会を開催した。</p> <p>2月9日は緑川流域での植林会を開催した。最近では、植林をしても鹿食害に合うことが問題となっているため、1本1本を確実に育てる工夫をし、植林を行うことにした。間伐材の杭を3本たて、その中心に苗木を植え、周囲にロープを張り、鹿食害から守る工夫を行った。雪の降る中、杭を持って急な斜面を何度も往復したため大変だったが、56本の植林を行うことができた。</p> <p>2月10日は球磨川での植林会を開催した。天候も良く、植林をした場所は周囲を鹿防護ネットで囲んであるため、スムーズに植林を行うことができた。</p> <p>まず、前日に行った緑川の植林の報告として、3本の木杭を使った植林の方法をデモンストレーションしたあと、144本の植林を行った。その後、これまで10年以上に渡り植林活動を続けられている「NPO法人天清水の会」の木下氏と球磨川流域でオカリナを使い自然環境改善を訴える活動をされている「顔色鮮白庵」の高場氏によって、植林と私たちができることについての講話をしていただいた。今回植林した木の種類(カシ・イチイガシ・クヌギ)</p> <p>(事業実施効果)</p> <p>これまでの植林は、人の数と植林の本数で、評価されていた部分もあったが、鹿食害により、ほぼ全滅した場所もある。参加者もこのような現状を理解し、確実に木が育つ工夫を行い植林ができたことで、植林した森に愛着がわき、今後は植林活動を続けるとともに手入れにまた来たいという感想をいただいた。</p>								
6	参加内訳	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">総人数</td> <td style="text-align: right;">45名</td> </tr> <tr> <td>(1)主催者参加</td> <td style="text-align: right;">6名</td> </tr> <tr> <td>(2)日本人参加((1)を除く)</td> <td style="text-align: right;">39名</td> </tr> <tr> <td>(3)外国人参加((1)を除く)</td> <td style="text-align: right;">0名</td> </tr> </table>	総人数	45名	(1)主催者参加	6名	(2)日本人参加((1)を除く)	39名	(3)外国人参加((1)を除く)	0名
総人数	45名									
(1)主催者参加	6名									
(2)日本人参加((1)を除く)	39名									
(3)外国人参加((1)を除く)	0名									
7	今後の方針	今回植林した苗木には、1本1本植林者の名札がついているため、今後下草刈り等の「手入れ会」を開催し、自分の植えた木を責任をもって育ててもらおうとともに、新たな植林活動も進めていく。								

2月9日 緑川植林



2月10日 球磨川植林

